

# 支援需給かみ合わず

## ボランティア長時間待機も

鳥取県中部で最大震度の弱き観測した地震では、倉吉三朝、湯梨浜、北栄の1市3町に災害ボランティアセンターが設置され、被災者の依頼が絶えることなく寄せられている。しかし、大半が屋根のブルーシート張りや、

### 依頼の大半、専門性必要

活動内容を打ち合わせるボランティアら=28日、倉吉市の上灘公民館



県社協によると、寄せられた案件は約800件(28日正午現在)と、望は計約10500件。ボランティア登録者数は約9200人。このうち被災者の要望に応え、答えることがない。北

「住民には、いかになるのかわからない」と。北降雨のため屋根の上での作業は危険と判断され中止。同センターへの要望の9割以上はシート張りだが、まだ38件が未対応だ。湯梨浜町災害ボランティアセンター(同町久留)でもシート張りの要望に対応が追いつかず、連日約20件が繰り越しになっている。ボランティアにはシート張りに使う土の作りを依頼している。

要請・相談件数が多い倉吉市災害ボランティアセンター(同市上灘町)でも、当初はシート張り作業の要望が大半を占めたため、長時間待機するボランティアの姿が目立った。28日午前11時現在で

累計602件の要望があり、約7割の476件はシート張り。ボランティアは延べ5057人が活動する中、作業内容はがれき撤去などの依頼が徐々に増え「相談者も集まっている。専門性の高い作業は県内だけでは間に合わない。県外からの応援も必要だ」と指摘。

倉吉市災害ボランティアセンターの稼働の様子。ボランティアの活動の様子。

倉吉市災害ボランティアセンターの稼働の様子。ボランティアの活動の様子。

倉吉市災害ボランティアセンターの稼働の様子。ボランティアの活動の様子。

倉吉市災害ボランティアセンターの稼働の様子。ボランティアの活動の様子。

### 一人一人の事情把握

#### 倉吉市 避難者住居支援へ対話

鳥取県中部地震で被災、避難生活が続いている市。市民の実態調査に乗り出した倉吉市は28日、避



成徳小体育館ではこの日午後1時半から調査が始まった。避難理由を聞き取り、住居支援につなげる。学校の体育館に設置した避難所を縮小し、公民館や市営住宅などに移行できないか検討する。地震によつて避難所で過している人が調査対象で、31日まで実施する。避難している理由▽自宅の損壊状況▽今後希望する住まいなどを対話形式で聴き取る。28日、倉吉市の成徳小体育館

成徳小体育館ではこの日午後1時半から調査が始まった。避難理由を聞き取り、住居支援につなげる。学校の体育館に設置した避難所を縮小し、公民館や市営住宅などに移行できないか検討する。地震によつて避難所で過している人が調査対象で、31日まで実施する。避難している理由▽自宅の損壊状況▽今後希望する住まいなどを対話形式で聴き取る。28日、倉吉市の成徳小体育館

成徳小体育館ではこの日午後1時半から調査が始まった。避難理由を聞き取り、住居支援につなげる。学校の体育館に設置した避難所を縮小し、公民館や市営住宅などに移行できないか検討する。地震によつて避難所で過している人が調査対象で、31日まで実施する。避難している理由▽自宅の損壊状況▽今後希望する住まいなどを対話形式で聴き取る。28日、倉吉市の成徳小体育館



吹公園だんごを手に幸町の石谷精華堂

内外で「吹公園だんご」を待っていた。言葉が通じず、手話で「だんご」と話した。白あん、小豆あん、抹茶あんの色が一つ、のしに刺さっている。

吹公園だんごは、右肩上がり、の配色で縮詰めの丸が特徴。だんごの配色のよさに被災地の復旧が進むことが期待される。(加藤祥代)

が相次ぐ中、「外に出る戦前から続く市。鬼嫁」に近づく。28日、最後の市は開催。28日は野菜や果物を販売する。約10店が野菜を準備

近づく中、「外に出る戦前から続く市。鬼嫁」に近づく。28日、最後の市は開催。28日は野菜や果物を販売する。約10店が野菜を準備

近づく中、「外に出る戦前から続く市。鬼嫁」に近づく。28日、最後の市は開催。28日は野菜や果物を販売する。約10店が野菜を準備

近づく中、「外に出る戦前から続く市。鬼嫁」に近づく。28日、最後の市は開催。28日は野菜や果物を販売する。約10店が野菜を準備

近づく中、「外に出る戦前から続く市。鬼嫁」に近づく。28日、最後の市は開催。28日は野菜や果物を販売する。約10店が野菜を準備